

戸田市ウォークアブル社会実験 企画書（案）概要版

令和6年8月6日
戸田市

はじめに

まちなかウォーカブルとは

- 「ウォーカブル」とは、「歩く」を意味する「walk」と「できる」の「able」を組み合わせた造語で、「歩きやすい」「歩きたくなる」といった意味で使われます。
- 国土交通省では、「居心地が良く、歩きたくなるまち」として、道路空間を車中心から「人中心」の空間に転換し、多様な人々の交流の場を形成することで、都市の魅力向上を推進しています。

「居心地が良く歩きたくなる」まちなかのイメージ

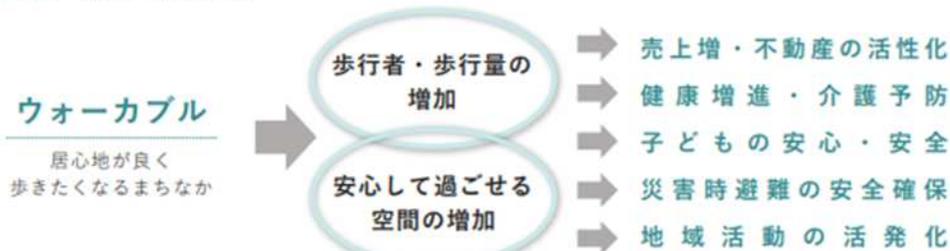


（出所）官民連携まちづくりポータルサイト

まちなかウォーカブルの実現にて期待される効果

- 「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成によって、多様な人々の出会い・交流を通じたイノベーションの創出や人間中心の豊かな生活を実現し、まちの魅力・磁力・国際競争力の向上が内外の多様な人材、関係人口を更に惹きつける好循環が確立された都市を構築が図れます。

ウォーカブルの主な効果



（出所）門真市「古川橋駅周辺地区まちなかウォーカブル推進基本構想」

検討背景

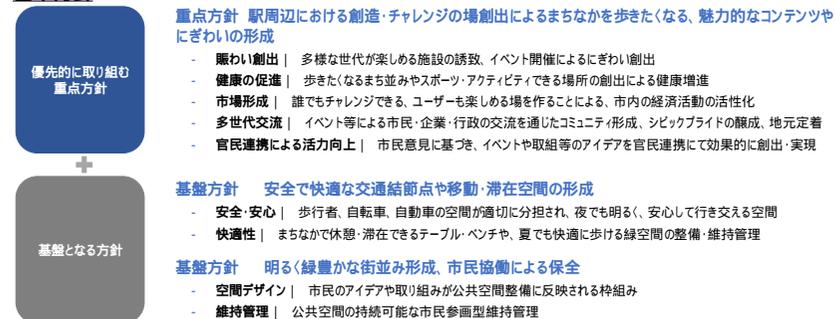
将来ビジョン（案）

- 戸田市では人口が増加傾向であり、平均年齢が若く高齢化率が低い、全国でも数少ない都市ですが、今後人口の維持・定着を図るため、住み続ける・選ばれ続ける魅力的な都市の形成が喫緊の課題です。
- 現在、新首第一土地区画整理事業が進行中のJR北戸田駅周辺地域において、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を通じ、都市の魅力向上を図るため、「北戸田駅周辺まちなかウォーカブル 将来ビジョン（案）」を作成しました。

コンセプトの構築に向けた方向性

新しいチャレンジを応援し、育んでいくことで
街並みと人が変化し続ける楽しみのあるまち、北戸田

基本方針



令和6年度の取り組み方針

- 令和5年度に策定した将来ビジョン（案）に基づき、令和6年度では社会実験を実施します。社会実験においては、戸田市まちづくりラボ準備会でのご意見や関係者との調整を踏まえ、笹目川プロムナード・ボール公園の2か所にて実施する予定です。



社会実験の目的

社会実験の目的

- 「令和6年度の社会実験は、北戸田駅周辺をウォーカブルな空間とする「将来ビジョン（案）」を実現するために行うものです。
- 現在活用可能な公園や道路などの公共空間の活用の試行を通じて、「空間の使いこなし」「まちで活動する仲間づくり」「取り組みを知ってもらう」ことを目的とし、将来的なウォーカブルの取り組みの具体策を検討していきます。

令和6年度社会実験の目的

空間の使いこなし

- 従来のハード整備先行型の公共事業ではなく、空間を使う中で、「どのような空間ならより楽しめるか？」「どのような空間ならより使いやすいか？」を共に考え、実行・検証することで、居心地のよい空間の利活用を目指した整備へとつなげていきます。

まちで活動する仲間づくり

- 地域のみなさまの地元ネットワークを発揮し、ウォーカブルなまちづくりに賛同し、ともに楽しむ仲間を集め、取り組みを盛り上げ、加速します。

取り組みを知ってもらう

- イベント形式で公共空間を活用することで、多くの地域の方に取り組みを知っていただくきっかけとします。

将来ビジョン（案）のコンセプトへの反映

- 社会実験の目的のうち、特に「空間の使いこなし」については、将来ビジョン（案）に掲げるコンセプトの実現に直接的に関与する重要な部分であり、「活動のデザイン」「つながりのデザイン」の2つの視点から、社会実験のコンテンツを精査します。

空間の使いこなし

デザインの視点

活動のデザイン

- 外出機会の創出や地域の方がやりたいことの実現に向け、実施可能な取り組みやニーズの把握について検討します。

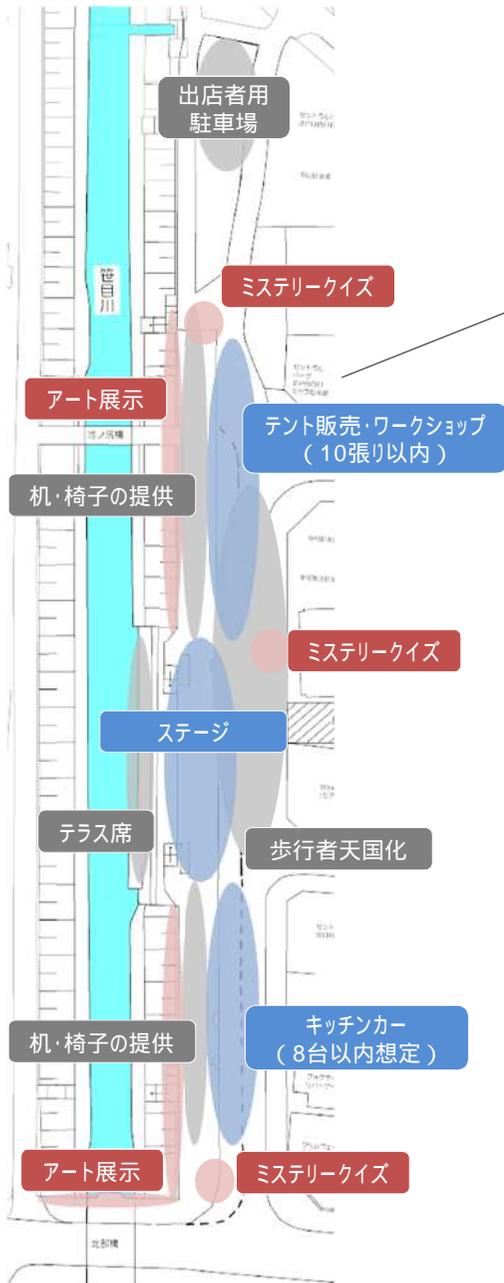
つながりのデザイン

- それぞれのエリアやエリアで実施する活動をつなげるための快適な移動や滞在の在り方を検討します。

社会実験の概要

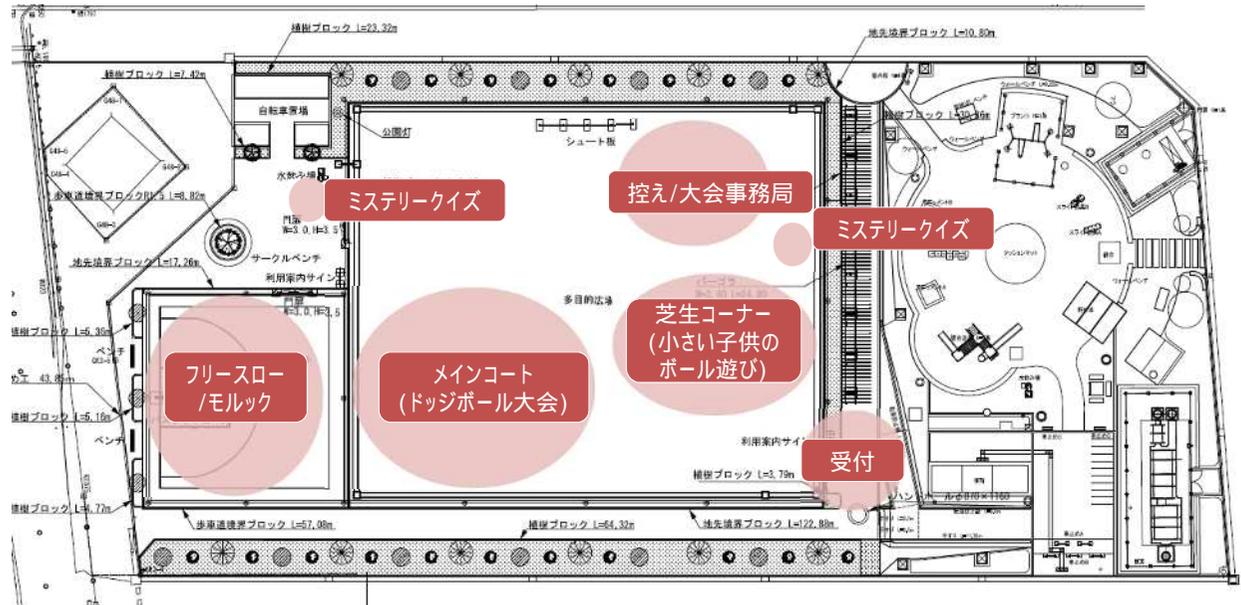
	概要
企画タイトル	北戸田駅ウォーカブル社会実験 フェスタ（名称未定）
場所	笹目川プロムナード、ボール公園
日付	11月23日（土） 雨天の場合11月24日（日）に延期
時間	10時（ ）～15時 ボール公園は10時から開催、笹目川プロムナードは出店者等の準備が整い次第開催とし基本は11時から開催
コンテンツ	<p>活動のデザイン@ボール公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ドッチボール大会、フリースロー・モルック ボールを使ったこどもの遊び場の提供 <p>活動のデザイン@笹目川プロムナード</p> <ul style="list-style-type: none"> ステージでの発表 キッチンカー、ワークショップの出店 <p>つながりのデザイン@全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 笹目川の橋のスペースを使って、小学生・中学生の絵画等を展示 クイズで巡る北戸田（会場間の往来を促進）
調査内容	<p>空間の使いこなし</p> <ul style="list-style-type: none"> 回遊性創出に資するコンテンツとは？ 参加者アンケート調査、コンテンツ別の利用・参加者数 回遊・滞留状況はどうか？ 位置情報データ（センサ、民間ビッグデータ等） <p>まちで活動するなかまづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間牽引で取り組みを推進していくにあたっての課題は何か？ ラボメンバーへの事後アンケート調査 収支構造について持続可能であるか？ イベントの収支報告 <p>取り組みを知ってもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> 来場者数の多い時間帯はいつか？ 位置情報データ（センサ、民間ビッグデータ等）

社会実験の全体像



凡例

- ……ラボメンバーが準備・運営を行うコンテンツ
- ……ラボメンバーは事前準備のみを行い、コンテンツの提供は他団体等が行うコンテンツ
- ……社会実験期間中の運営は特段必要なく、設置等の事前準備をラボメンバー・事務局で行うコンテンツ



戸田市ウォーカブル社会実験 企画書（案）概要版

スタッフ配置

スタッフ人数

- ・ 笹目川プロムナード、ボール公園それぞれに本部テントを設置、それぞれ4名・2名の計6名配置。
- ・ 誘導員は笹目川プロムナード6名、ボール公園3名の計9名配置。
- ・ その他、笹目川プロムナードではステージ担当2名、ボール公園では審判2名の計4名のスタッフが必要。
- ・ 以上から、最小19名、最大38名（2部交代制）のスタッフを確保し、実施。

スタッフ配置

- ・ 右図参照（ | 本部、 | 誘導員）



雨天時対応

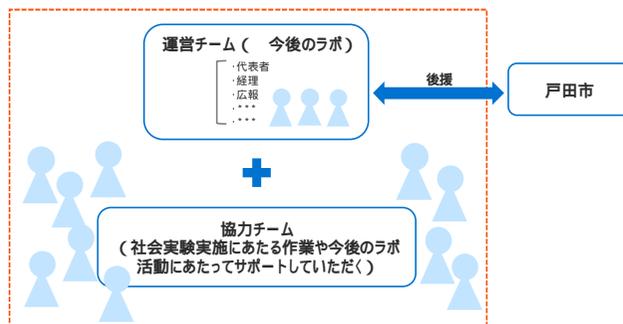
予備日も雨天の場合は、原則中止の方針

- ・ ボール公園など、屋外型コンテンツが社会実験の多くの割合を占めており、雨天時に代替コンテンツの実施が困難であることから、予備日も雨天の場合は「中止」とする方針。
- ・ 雨天中止の判断は、前日の正午までに事務局とコアメンバーとの協議で決定し、関係者（ラボメンバー、出店者等）に通知。
- ・ 中止の市民向け連絡は、SNSを通じて実施。

実施体制（案）

実施体制（案）

- ・ 社会実験全体を取りまとめる「運営チーム」、社会実験の実務（誘導員等）を担う協力チームの2つのチームに分け、社会実験の実施に向けた準備を進めていきます。



緊急時等オペレーション

緊急時の判断・指揮系統

- ・ 社会実験の開催期間中に発災等の平時ではない状況が生じた場合には、現地で社会実験の実施に協力している市職員が主導して避難等を実施します。
- ・ ラボメンバーは市職員の誘導等に従い、参加者を避難場所等へ誘導しつつ、自身も速やかに避難等を行います。

社会実験での調査

参加者向けアンケート調査

	概要
調査名	参加者向けアンケート調査（Google form、アンケート用紙）
配布方法	スタンプラリーの台紙配布時、ボール公園での受付時にQRコードの書いた紙を配付またはアンケート用紙を直接配付
回答期間	11月23日（土）～12月1日（日）までの1週間
設問	・ 属性情報（世帯構成、回答者属性） ・ 本イベントを知ったきっかけ（市の広報、知人、SNS等） ・ 本イベントに参加した理由、実際に参加したコンテンツ ・ 今後も同様のイベントが開催されれば参加したいと思うか、満足度はどうか 等

出店者（キッチンカー・ワークショップ）向けアンケート調査

	概要
調査名	出店者向けアンケート調査（Google form）
配布方法	出店者にQRコードの書いた紙を配付
回答期間	11月23日（土）～12月1日（日）までの1週間
設問	・ 出店したキッチンカー・ワークショップの内容 ・ 出店を希望したきっかけ（市の広報、知人、SNS等） ・ 出店の収支について（黒字、赤字、答えたくない） 等

位置情報データ

- ・ ドコモ社モバイル空間統計（携帯基地局 位置情報データ）、wifiパケットセンサーなどを比較し、移動実態の把握に適した手段で位置情報データを取得予定です。